

岩手県作業療法士会 釜石支部 活動報告

今回の担当：沖 千裕

釜石支部：R5年12月20日

5月30日 支部会議

藤原会長の挨拶から始まり、小野寺副支部長の「リハ職と地域のつながり」について、自己紹介、R4年度の活動の振り返りと活動予定のミーティングを ZOOM で開催。

各事業所の代表が参加し顔が見える関係づくりの第1歩に！

支部内事業所にアンケート実施

支部内の OT がどのような職場で活躍しているか、支部内で周知するためにアンケートを実施。依頼した全事業所から返答をいただき、各事業所の特色や困りごと、地域支援などを支部内で共有した。

新型コロナウイルス流行のため対面での交流が難しい中ではあるが、支部内の顔が見える関係づくりの手掛かりにしていきたい！

R5年度岩手県介護予防地域支援事業「高齢者の誤嚥性肺炎予防のための呼吸ケアと呼吸リハビリテーション」研修会が釜石保健所主催で行われた。

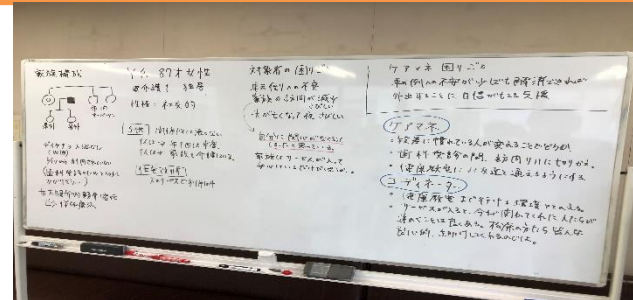
講師に神戸大学大学院の石川朗教授、パネルディスカッションにマリオス小林内科クリニックの中田隆文氏を招き、約100名での研修が開かれた。

地域のリハ職種と医療・介護・福祉関係の職種が一堂に会し、意見交換も行われ有意義な研修となった。



9月22日, 11月15日

釜石市地域ケア個別会議 (自立支援サポート型)



実際のケアプラン、事例に基づき、多職種の専門的かつ多様な視点から検討を行い、要支援高齢者の自立支援及びQOLの向上を図るための会議が行われた。

OTのアドバイザーとして材津支部長が両日出席し、事例の長所を活かし、興味関心に基づいた自立支援に向けての助言を実施。また多職種でおしゃべりして過ごせるような交流の場やサービス、外出が難しい方の買い物支援など地域の課題についても話し合われた。

11月27日

9月1日 支部内研修



支部内で勉強会実施に向けアンケートを取り、関心が高かった「MTDLP」の研修を MTDLP 推進委員長、荻野病院 佐藤伸和氏を講師に招き「MTDLPの使用について」「使いやすい環境づくりに

ついて」の研修を ZOOM にて実施。

実践者が複数参加していたことから、上記の内容に加え、実施した感想や実際の業務の落とし込み方、実習生への活用など話し合うことができ、密な内容となり、終始和やかで和気あいあいとした研修会となった！